

## 令和元年度のダイナミックチャレンジ

昨日、ついに新しい年号「令和」が決まりました。本校でも、令和元年にふさわしく、これまでの本校の素晴らしい実践をさらにステップアップして、新しい基礎を創っていきましょう。そのためには、各分野での創意工夫をしていくことが求められます。取組のギアをアップするためには、1つのギアだけを大きく回しても加速はできません。全てのギアを大きく回していきましょう。

新年度が始まり、新しい担任、校務分掌が決まりました。それぞれの分野で、例年通りこなすのではなく、自分だからこそそのダイナミックなアイデアに是非ともチャレンジしてください。

本校の大きな課題は、児童の主体性の伸張、コミスク活動の活性化、若手の人材育成です。さらに短期的には、本年度11月の中国大会に向けた図書館を活用した教育の充実です。

これらの課題に対応するための「本年度の重点的取組」を5点示しました。

- ① 新しい教育目標の達成に向け学校・家庭・地域が一体となった組織的な取組の推進
- ② 徳知体プロジェクトを中心とした「ダイナミックチャレンジ」によるステップアップ
- ③ コミスク活動の充実による「地域の方へあたたかい挨拶」ができる児童の育成
- ④ 同学年組織を中心とした1000日プランの実践による人材育成の推進
- ⑤ 図書館を活用した学習の実践による授業改善・学力向上の推進

①徳知体それぞれの取組の方向性を示した学校教育目標の具現化を図るために、学校運営協議会に徳知体の3部会を設置しました。これを活用し、学校、家庭、地域それぞれの場で、創意工夫された具体的な実践を行っていきましょう。

②そのためにも、まずは、私たち学校で徳知体の目標達成に向けた取組を加速させる

必要があります。校務分掌それぞれのプロジェクトで熟議し、ダイナミックで新しい取組（次の手）にチャレンジして良城教育全体をステップアップしていきましょう。各プロジェクトリーダー・サブのリーダーシップに期待しています。

③吉敷地区地域づくり協議会では、「子どもの見守り総決起大会」の開催が予定されるなど、地域の学校支援の機運、地域づくりへの期待感はかなり高まっています。取組をさらに重ね、結果として、児童一人一人の「ふるさと吉敷を愛する気持ち」を高めていきましょう。その大きな指標として、児童の地域の方々へのあたたかい挨拶をあげました。本校児童の挨拶は素晴らしいとの評価もありますが、まだまだ表面的であり、校内でも来校者にはあまり挨拶はしません。校内だけでなく校外でも、自分から積極的にあたたかい挨拶ができる児童の姿が見られるようになるといいですね。

④どんどん若い先生が増えています。エネルギー、新しい発想にあふれる若手は学校を元気にしてくれます。しかし、若いだけではだめです。「自主・協同・貢献」という本校教育理念を自身がしっかりと表現できる教員としての指導力を身につけられるように、学年主任を中心とした同学年で、「人材育成」を強く意識して、日々の実践を重ねてください。

⑤11月7日に授業提供を行います。昨年度にその方向性はしっかりと示されています。この大会への取組は、当日だけの特別なものではなく、これまでの研修の延長であり、児童の学力向上につながるとても大切な取組だと捉えています。研修関係主任や当日の授業者だけでなく、全職員で取り組んでいきましょう。

みんなで「ダイナミックチャレンジによるステップアップ」を進め、「もっともっと楽しくてたまらない良城小学校」を創っていきましょう。